

平成 21 年度事業報告

平成 21 年度においては、20 年後半からの世界的な景気の後退と円高による影響などにより海外からの観光客が減少し、加えて 5 月に関西発で起こった新型インフルエンザの影響により、特に京都においては修学旅行のキャンセルをはじめ大きな影響を受けた。そのため、当連盟では、京都府とともに新型インフルエンザ対策事業を実施し、観光関連団体の活動に交付金を支給する事業やオール京都での京都観光誘客キャンペーン等を実施した。また、秋に実施された「京都知恵と力の博覧会」、「第 26 回伝統的工芸品月間国民会議全国大会」、今年度から実施の「古典の日」の催しの PR 等に努めた。

京都観光を担う人材を育成する京都観光未来塾では府北部での開催を充実させるとともに、修了生による OB 会及び府内観光ボランティアガイド団体の連絡組織を設立し、その取組を支援した。更に、国際観光振興対策として海外誘客対策事業の推進に努めた。

また、3 月 16 日からは京都駅ビル 2 階に京都総合観光案内所が開設され、従来駅ビル 9 階で行っていた京都府観光情報センターでの府域の案内、京都ツーリストインフォメーションでの外国人の案内業務も含めてワンストップで運営されることとなった。

1 組織の強化

会員の増減については、会員登録の変更があり、会員数としては前年度よりやや減少した。

(1) 会員の異動状況

- ◆ 平成 21 年 4 月 1 日現在の会員数 300 会員
- ◆ 平成 21 年度中の異動状況
 - 入会 11 会員
 - 退会 13 会員
- ◆ 平成 22 年 4 月 1 日現在の会員数 298 会員

(2) 理事会及び総会の開催

理事会 平成 21 年 5 月 8 日 於：京都タワーホテル
(理事 29 名、監事 3 名出席、委任状を含む。)

総会 平成 21 年 6 月 9 日 於：京都タワーホテル
(会員 245 名出席、委任状を含む。)

(3) 関係機関・団体等との連携

各種委員会等への参画をはじめ、関係機関・団体等との連携のもとに観光関連業界の振興と発展に努めた。

(注) 参画各種委員会等は、別記参照

2 観光情報センター活動事業

(1) 観光情報センターの運営

京都府観光情報センター（京都駅ビル9階）及び丹後観光情報センター（KTR 天橋立駅1階）は、来訪者に役立つ観光情報の収集に努め、案内窓口の立地条件を生かして会員情報及び京都市、丹後、丹波、山城各地域の観光情報を提供するとともに、来訪者及び電話等による各種問合せに対応した。

◆ 京都府観光情報センター（京都駅ビル9階）運営状況（3月15日まで）

各種問合せ件数（件）			
来訪者数（人）	電話（件）	合計（件）	前年度合計（件）
21,840	12,113	33,953	41,070

◆ 丹後観光情報センター（KTR 天橋立駅1階）運営状況

各種問合せ件数（件）			
来訪者数（人）	電話（件）	合計（件）	前年度合計（件）
28,527	4,285	32,812	32,996

(2) 京都市観光案内所への職員派遣

京都府の支援及び京都市の協力を得て、京都市観光案内所内（京都駅ビル2階）の京都府域観光案内コーナーに当連盟嘱託職員1名を派遣し、京都府観光情報センターとの連携により京都府域の観光案内を実施し観光客の利便性の向上を図るとともに、府域観光地への誘客促進に努めた。

（3月15日まで）

◆ 窓口来訪者 53,490人（前年度57,421人）

(3) 臨時観光案内所の設置

平成21年度も、オール京都体制により運営されている京都観光振興会議（京都府、京都市、京都商工会議所、社団法人京都府観光連盟、社団法人京都市観光協会）の取組事業として、秋の観光シーズンに対応した臨時観光案内所を京都駅ビル前に設置し情報提供サービスの充実を図った。

（春の観光シーズンは京都総合観光案内所開設により設置せず。）

期 間	日本人	外国人	合 計
11月20日～29日	29,476人	2,831人	32,307人

(4) 京都総合観光案内所への職員派遣

平成22年3月16日から京都駅ビル2階南北自由通路沿いに、京都府と京都市が共同で設置した京都総合観光案内所が開設されたため、当連盟嘱託職員を毎日1名派遣し、京都府域の観光案内を支援することにより府域観光地への誘客促進に努めた。

期 間	日本人	外国人	合 計
3月16日～31日	32,806人	12,213人	45,019人

(京都総合観光案内所全体の実績)

(5) 観光だよりの発行

府内の観光関連行催(祭)事情報を各市町村等の協力により「観光だより」(年4回各800部作成)としてとりまとめ、全国の観光関係事業者や報道機関等へ送付(無償)することにより観光客の増加につなげるとともに、観光情報センターにおいて販売した。

(6) 観光情報提供システムの運用

観光情報センターに設置の観光情報提供システムのデータの充実を図り、インターネットにより情報を発信するとともに、連盟会員をはじめ関連団体等とのリンクにより情報発信力を高めた。

また、携帯電話から当連盟のWEBサイトへの接続サービスも実施した。

区 分		21年度件数	前年度件数
観光情報提供システム・データ数		約3,000	約3,000
ホームページアクセス	ページビュー	58,144,386	52,557,017
	トップページ	2,363,593	1,863,724
ファックスサービス		1,982	2,011
ホームページリンク合計数		175	187

(7) 観光写真の整備と活用

当連盟所有の府内観光写真のフィルム等を貸し出すことにより、京都府域の観光PRに努めるとともに所蔵フィルム等の充実を図った。

(8) 桜の開花情報及び紅葉情報の発信

府内各地の桜の開花情報及び紅葉情報を定期的に収集し、主な関係先へ送付するとともにインターネットでの情報発信とファックスによる情報提供を行った。また、「桜開花情報」、「紅葉情報」を社団法人京都市観光協会と協力し、府域、市域を併せて1枚のパネルに表示して京都総合観光案内所に掲示し観光客の利便性を図った。

区 分	表示件数(内訳)	掲示期間
紅葉情報	105箇所◆京都府41箇所 ◆京都市64箇所	平成21年10月29日～12月3日
桜開花情報	81箇所◆京都府39箇所 ◆京都市42箇所	平成22年3月18日～4月15日

(9) 首都圏での旅行記者クラブ等への情報発信

近畿府県が協力して首都圏において年4回開催している旅行記者クラブ等との情報交換会を活用し、府内の観光・イベント情報をはじめとする各種京都情報の発信を行った。

(10) 観光情報ファイルの活用

社団法人日本観光協会に対し府内観光情報の提供を行い、同協会の広報媒体を利用して観光情報の発信を行った。

3 観光客誘致対策の強化

(1) 観光宣伝媒体の作成による広報宣伝の強化

ア 「マップ京都」の発行

京都総合観光案内所窓口や、物産関係団体、社団法人日本観光協会などと連携した催事において、京都観光の案内、宣伝に活用するため、府内観光情報の提供と誘客に使用する地図「マップ京都」を制作した。

イ 「京都体験紀行」の発行

参加型又は体験ができる観光についての観光客の問い合わせに応じるため隔年で「京都体験紀行」を発行しているが、平成21年度は「京都体験紀行2010」として、町家情報を加えて発行した。

ウ 「京都再発見」の増刷

京都府からの受託事業として、京都総合観光案内所窓口や全国各地で開催される各種観光展において配布する「京都再発見」を増刷した。

(2) 一般誘致対策の強化

ア 広域観光誘客促進事業の推進

(ア) キャリアー（旅客輸送機関）との連携事業

京都府南部地域の観光資源をアピールするため、乙訓2市1町・八幡市と連携し、阪急電鉄、京阪電気鉄道の協力を得て関係地域内に4コースを設定し「乙訓・八幡歴史ウォーク」を実施した。

(イ) 京都府・JR西日本観光連携協議会

乙訓、山城、南丹の3つのブロック協議会と連携を図り、それぞれの地域が有する観光資源の宣伝・PRをより効率的・効果的に進め、JR沿線の利用促進と同地域への観光誘客を促進するため、発駅及び着駅で観光客が利用できるパンフレットを作成し、JRの関係駅に設置した。

(ウ) 広域観光案内連携事業

京都市域でホテル、旅館等の宿泊施設事業者を対象として京都市に隣接する府域の市町村の観光地の魅力を紹介するため「コンシェルジュ（総合案内係）等に対する観光情報説明会」を実施した。

- ◆ 開催日 平成22年2月22日
- 場 所 京都タワーホテル
- 参加者 23施設 30名

イ 観光プロモーション事業

(ア) マスコミ対策事業

報道関係者等を招請し、関係市・観光協会との連携のもと、「光秀の作った城下にタイムトリップ」と題して、亀岡市の観光スポットを紹介するとともに、参加関係者先の紙面等への観光情報の掲載を要請した。

◆開催日 平成 22 年 3 月 2 日

場 所 亀岡市

参加者 11 名

(イ) 観光宣伝販売促進会議の開催

首都圏の旅行エージェント及びキャリアー（旅客輸送機関）に対して新たに整備された府内の観光関連施設や、幅広い分野の観光資源を紹介宣伝し、京都観光の情報発信を促進するために、東京において継続実施している観光宣伝販売促進会議を開催し、各社の商品企画立案への採用を呼び掛けた。

◆開催日 平成 21 年 9 月 10 日 ～ 11 日

場 所 東京ステーションコンファレンス

参加エージェント等		参加団体・機関等	
クラブツーリズム(株)・近畿日本ツーリスト(株)・東海旅客鉄道(株)・(株)日本旅行・(株)ジェイティービー	48 名	行政機関・観光団体・伝統産業関係団体・府観光連盟	21 名

(ウ) 物産展・観光展等への出展

京都府及び物産関係団体と連携し、京都市・大丸京都店で開催された「第 12 回京の味めぐり・技くらべ展」会場において京都観光の普及・PR を行った。更に、物産関係団体が仙台市やさいたま市で実施した京都展において京都観光を PR した。

また、社団法人日本観光協会関西支部と連携して、名古屋市金山総合駅、横浜駅及び京都駅の国内観光展に出展し、京都観光の魅力をアピールした。

(エ) 物産開発と連携した誘客促進

産品・物産の商品開発と連携した観光振興の取り組みとして、京都府商工会連合会「販路開拓支援事業」などの各種委員会に参画し、物産を通じて京都への誘客に取り組んだ。

4 国際観光振興対策の強化

(1) 京都ツーリストインフォメーション・カウンターの運営

外国人向け観光案内業務を財団法人京都府国際センター（京都駅ビル 9 階）内で実施した。平成 21 年度の窓口への来訪者等は次のとおりであった。（3 月 15 日まで）

来訪者及び問い合わせ件数（件）			
来訪者数（人）	電 話（件）	合 計（件）	前年度合計（件）
34,696	1,412	36,108	38,487

(2) 海外誘客対策事業の推進

ア 京都府、滋賀県、社団法人びわこビジターズビューローとともに、有望な市場と考えられる香港の個人旅行（FIT）等をターゲットとした誘致事業を国のビジット・ジャパン・キャンペーン地方連携事業として実施した。

（香港での現地プロモーション活動）

・京滋観光セミナー

日 時 平成 21 年 11 月 26 日

場 所 インターコンチネンタル グランド スタンフォードホテル香港

来場者 旅行会社 25 社 32 名

・旅行会社表敬訪問

日 時 平成 21 年 11 月 25 日～ 27 日

訪問先 6 カ所

（香港からのメディア招請事業（ファミトリップ））

日 時 平成 22 年 2 月 22 日～ 26 日

場 所 京都市、宮津市、丹後半島等

招請者 3 社 6 名

イ 関西クルーズ振興協議会 VJC 実行委員会が企画した韓国の旅行会社及びメディア向けの招請事業（ファミトリップ）に参画し、丹後広域観光キャンペーン協議会とともに舞鶴・丹後への観光誘客事業を実施した。

日 時 平成 21 年 10 月 25 日～ 10 月 31 日

場 所（京都府内） 舞鶴市、宮津市、京丹後市、伊根町、与謝野町、亀岡市

参加者 旅行社 3 社 3 名・メディア 2 社 2 名

ウ 社団法人日本観光協会の関西ブロック広域観光振興事業（近畿 2 府 5 県）に参画し社団法人日本観光協会台湾事務所において京都観光の魅力の宣伝・紹介を行った。

(3) インバウンド商談会の実施

5 月 28 日、29 日に横浜市で開催されたインバウンド観光大規模商談会「YOKOSO！ JAPAN トラベルマート 2009」に参加し、京都観光の情報提供及び PR を行った。

(4) 海外ネットワークの構築

米国京都会、JNTO 等の協力者や海外旅行社とのネットワークづくり、府内市町村・観光協会等とのネットワークづくりのため、海外への最新観光情報の定期的な受発信、パンフレットやポスターの送付、海外の訪日旅行情報の把握等を行った。

(5) 海外有力プレス関係者等招請

京都府、京都市、社団法人京都市観光協会とともに、海外の有力プレス関係者等の招請を行った。

招請総数 41 件

招請社数 延べ 102 社

招請国・地域 20 カ国・地域

5 観光振興基盤の強化

(1) 観光関連事業功労者等の表彰

観光振興に顕著な功績のあった観光関係者及び団体に対する表彰を行った。

表彰区分	21 年度被表彰者数
観光功労者表彰	9 名（知事表彰 1 名）
優良従業員表彰	29 名（知事表彰 1 名）
優良観光団体表彰	該当なし

(2) 京都府観光魅力創造会議

「観光の活性化方法」を発案する検討の場を設け、関係団体の課題とノウハウを集積することにより観光団体の組織力アップと観光団体の連携促進を図るため「京都府観光魅力創造会議」を開催した。

日 時	場 所	参加者
平成 22 年 2 月 16 日	京都府国際センター	18 名

(3) 各種観光行催事後援等による普及・啓発事業

各種観光関連行催事への協賛・後援をはじめ、府内観光関連団体等と連携・協調して観光関連事業の振興を図った。

6 京都観光を担う人材の育成

「京都観光未来塾」第 1 期修了生のフォローアップと修了生相互のネットワークづくり等を目的とした「円卓会議」を 5 月に開催するとともに、平成 21 年 7 月から 10 月まで、第 2 期の各セミナー（研修）を開催した。また、第 1 期修了生による OB 会「京都観光未来創造ネットワーク」を 7 月に、府内観光ボランティアガイド団体の連絡組織「京都府観光ボランティアガイド団体連絡協議会」を 8 月に設立した。さらに、各種助成制度の活用等による観光ビジネスの創出も支援した。

各セミナー（研修）の内容としては、観光産業経営者・企画担当者向けの「経営企画セミナー」、観光産業従事者向けの「ホスピタリティ（おもてなし）セミナー」、地域観光リーダー向けの「地域リーダー研修」、観光ボランティアガイドリーダー向けの「ボランティアガイドリーダー研修」の 4 コースに分け、「地域の魅力づくり」、「府域への外客誘客」の視点から、座学による講義だけでなく、考えるプロセスを重視したケーススタディ演習、講師との対話や実習を中心としたワークショップ、成功事例から魅力ある観光地づくりのヒントを学ぶ事例研究等による実践的な内容により開催した。（府北部会場（京丹後市、宮津市、舞鶴市）コースも設定）

- ◆ セミナー（研修）の開催 33回（平成21年7月～平成21年10月）
 - ・ 経営企画セミナー（京都市） 5回
 - ・ ホスピタリティ（おもてなし）セミナー（京都市） 6回（※英会話研修4回含む）
 - ・ ホスピタリティ（おもてなし）セミナー（京丹後市） 6回（※英会話研修4回含む）
 - ・ 地域リーダー研修（京都市） 4回
 - ・ 地域リーダー研修（宮津市） 4回
 - ・ ボランティアガイドリーダー研修（京都市） 4回（※中国語講座1回含む）
 - ・ ボランティアガイドリーダー研修（舞鶴市） 4回（※韓国語講座1回含む）
- ◆ 京都観光未来塾円卓会議の開催 1回（平成21年5月11日）
- ◆ 京都観光未来塾人材育成会議の開催 2回（平成21年5月～平成22年3月）

7 観光振興への拠出

社団法人日本観光協会が実施する広域観光振興事業に対する拠出を行った。

8 新型インフルエンザ対策事業

(1) 「京都へおこしやす！」観光振興事業

新型インフルエンザの国内発生により京都観光が大きな打撃を受けたことに対し、観光客の方々に安心して京都に来訪いただくよう呼びかけ、京都観光の復活を図るため、全国各地において、京都観光キャンペーンを実施した。

ア 北海道での京都誘客キャンペーン

- 日 程 平成21年6月21日
- 場 所 サッポロファクトリー（札幌市）
- 主 催 京都府・社団法人京都府観光連盟
- 共 催 丹後広域観光キャンペーン協議会
- 内 容 京都の観光パネル展示、観光パンフレットの配布等の常設イベント
京都クイズ大会、時代劇ショーおよびチャンバラ教室等のステージイベントを実施
- 来客数 10,000人

イ 東京での京都誘客キャンペーン

- 日 程 平成21年6月27日
- 場 所 有楽町マリオンスペース（東京都千代田区）
- 主 催 京都観光振興会議（京都府・京都市・京都商工会議所・社団法人京都府観光連盟・社団法人京都市観光協会）
- 共 催 京都府旅館生活衛生同業組合
- 内 容 京都の観光パネル展示及びパンフレット等の配架等の常設イベント、舞妓の京舞披露、京都クイズ大会、祇園囃子の演奏等のステージイベント、景品・販促グッズ入りパンフレットセットの配布
- 来客数 15,000人

ウ 西日本での京都誘客キャンペーン

- 日 程 平成 21 年 7 月 20 日
- 場 所 JR 博多駅前（福岡市）
- 主 催 京都観光振興会議
- 内 容 舞妓さんとともに駅頭でキャンペーンを実施
京都観光振興会議構成団体のチラシを配布
- 来客数 2,000 人

エ 地域の魅力セレクション 2009 への出展

- 日 程 平成 21 年 7 月 31 日～8 月 2 日
- 場 所 東京国際フォーラム（東京都中央区）
- 主 催 京都観光振興会議
- 内 容 社団法人宇治市観光協会、亀岡市観光協会、丹後広域観光キャンペーン協議会も出展
イベントブースで府内の観光 PR、パンフレット等の配布
「おこしやす京都キャンペーンクイズ」と抽選会
「元気です関西」イベントステージでの京都観光 PR
- 来客数 21,800 人

(2) 京都観光振興交付金事業

新型インフルエンザの流行による風評被害等により影響を受けた京都府内の観光関連団体が観光客を誘致するために実施する事業に対して支援を行い、京都観光の振興を図った。

- 申請団体数 61 団体（京都市内 33 団体、京都市以外 28 団体）
- 事業費申請総額 190,946,000 円
- 交付申請額 126,724,000 円
- 交付額 94,650,000 円

(3) 京都体感・感動発見事業

新型インフルエンザにより多くのキャンセルが発生した修学旅行について、京都への修学旅行の回復と将来の京都ファンの拡大を図るため、夏以降に来訪する修学旅行生に対し、着物体験、伝統技芸鑑賞、伝統工芸品制作体験など、伝統文化や和装に親しむ機会を提供した。

きもの体験実績

(単位：人)

項目	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	計
きもの体験	11	42	577	965	139	0	206	1,940

その他の体験実績

(単位：校、人)

項目	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	計
伝統技芸鑑賞体験	0	2	7	2	4	5	5	25 校
伝統工芸品制作体験	99	430	224	260	181	127	287	1608 人